

西諸県地域の普及活動

令和8年3月
西諸県農林振興局
(西諸県農業改良普及センター)

I 管内農業・農村の主な動き

1) 3月期子牛郡品評会の開催

10日に、小林地域家畜市場において、西諸県郡市畜連主催による令和8年3月期子牛郡品評会が開催されました。

3月13日から15日に開催される3月期子牛セリ市に出荷される雌子牛のうち、市町子牛品評会を経た39頭が出品され、審査の結果、優等賞に7頭、壹等賞に20頭、貳等賞に12頭が選ばれました。

なお、優等賞首席は小林市の山田真司さん出品の「あきゆり2」号(父：桃百合)、2席は小林市野尻町の野下幹夫さん出品の「みずき2」号(父：桃白鵬)、3席は高原町の澤田ムツ子さん出品の「みつまめ」号(父：美津秋)が受賞されました。受賞牛は、発育良好、幅、深さ、長さ、体積が充分との講評でした。



【優等賞首席「あきゆり2」】

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動

(持続可能な農業生産の実現へ向けたアグリプレーヤーの確保・育成)

1) 経営分析研修会を開催

17日にえびの市SAP会員2名に経営分析研修を開催しました。経営分析の必要性や手法、決算書の見方や活用方法を説明した後、参加者に自身の決算データをパソコンに入力してもらい経営分析の演習を行いました。

演習は、品目毎の収支や費用の構成を確認し、指標との比較を通じて、それぞれの経営課題について考えてもらいました。数字で見ることで、経費のうち、どの科目が指針と比べて高いかとその理由に気づくことができたようです。

今後は、分析を通して明らかとなってきた課題に対する対策を考えながら次年度の計画作成を支援していきます。



【PCを使った演習】

2) 就農相談会を実施

17日、24日に、小林市で肉用牛繁殖経営での就農希望の方2名、11日、26日、27日に、えびの市で肉用牛繁殖経営での就農希望の方1名、いちごで4月から就農される方1名に対してそれぞれ就農相談会を開催しました。

これから肉用牛繁殖経営で新規就農を目指す方については、経営管理等の基礎的な講義を交

えながら計画検討を進め、青年等就農計画の市の認定に向けて、それぞれの目指す経営計画の策定を引き続き支援していきます。

※就農相談対応 4名5回

(内訳 小林市 : 肉用牛繁殖2名

えびの市: 肉用牛繁殖1名、施設園芸1名)

3) 新規就農者育成総合対策経営開始資金(旧: 農業次世代人材投資資金) 活用者の就農状況等の確認

11日、13日に高原町で、経営開始資金等を受給する新規就農者3名に対して、就農状況の確認が行われました。

地域関係機関担当者によりチェックシートによる現地の生産の実態確認や青年等就農計画の進捗状況の確認を行うとともに、普及センターは課題のヒアリングを行い、課題解決に向けた対応策について新規就農者とともに検討を行いました。

今後も青年等就農計画の実現に向けて経営管理や生産技術についての支援を行っていく予定です。



【生産状況の確認】

(未来に繋ぐ“持続的な次世代型水田農業”の実現)

1) 西諸県地区普通作物振興技術員会を開催

26日、普及センターにおいて、西諸県地区普通作物振興技術員会総会を開催しました。

総会では、令和7年度実績並びに令和8年度の活動計画を検討するとともに、農薬・肥料等の展示ほ設置案を協議しました。

また、日本穀物検定協会での新品種「ひなた舞」サンプルの結果において、最高評価である「特A」相当と評価されたことについて共有し、品種に合わせた基本技術の徹底を図ることを確認しました。

今日の技術員会を受けて、4月から5ヶ所で栽培講習会を実施し、生産者への支援を図っていきます。

(にしもろの畑地を生かした収益性の高い加工・業務用野菜産地の確立)

1) 畑の「みずサポ隊」の活動を開始

13日、小林市野尻町三ヶ野山地区において、畑の「みずサポ隊」の活動をしました。

初めてチューブ灌水を実施する法人に対して、ビーツ畑での散水器具設置をサポートしました。

また、当該ほ場は、展示ほとして生育調査も実施します。サポートを受けた法人は、器具の設置が要領よくできるようになり、水利用を行うことへのストレスが軽減されたと語っていました。



【散水器具設置の様子】

2) 「西諸地区畑作営農改善推進協議会」幹事会を開催

18日、普及センターにおいて、「西諸地区畑作営農改善推進協議会」幹事会を関係機関出席のもと開催しました。

会では、令和7年度総会議案（令和7年度事業実績と収支決算並びに令和8年度の事業計画等）に関する協議を行いました。

なお、総会は令和8年5月の開催を計画しています。



【幹事会で協議する様子】

3) 西諸地区営農振興協議会・特用作部会を開催

13日、普及センター研修室において、茶・かんしょ・薬用作物（ミシマサイコ）に関する特用作物の技術委員会を開催しました。茶の省力、低コスト対策、かんしょの病害対策に向けた展示は、ミシマサイコの新規生産者の確保に向けた検討が行われ、すべての事案が承認されています。

次年度も、特用作物の更なる振興に向けた取組みを関係機関と連携して行って参ります。

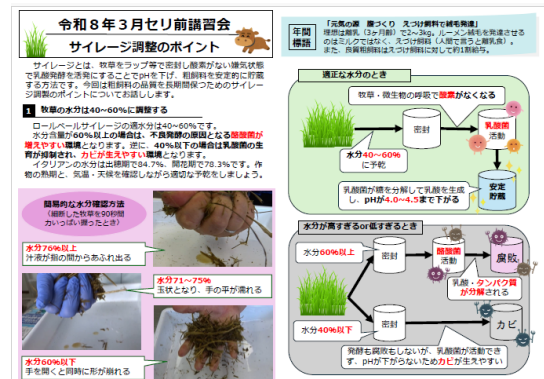
(魅力的な子牛産地を支える実力ある肉用牛繁殖経営の確立)

1) セリ前講習会を実施

13～15日に、小林地域家畜市場において、子牛セリ市開催前に講習会を行いました。今月の講習会では、普及センターから「サイレージ調製のポイント」をテーマに講習会を行い、延べ100名程度の参加がありました。

参加者からは、カビ毒吸着剤に関する質問が寄せられ、当講習会を通して適切な調製による良質な粗飼料確保について認識を深めるきっかけとなったようでした。

今後も継続して、基本技術の紹介を行っていきます。



【講習会資料「サイレージ調製のポイント」】

(スマート生産基盤の確立による収益性の高い果菜類産地の育成)

1) JAこぼやしきゅうりほ場生育調査および巡回指導

きゅうりほ場2戸で生育調査および環境データに基づいた栽培指導を実施しました。これは、きゅうりの収穫が始まる12月から毎週木曜日に茎の太さや開花位置、収穫位置などを調査することできゅうりの生育状況を数値で把握し、それと併せてハウス内の温湿度やかん水量などの環境データをグラフ化し、今後の管理について助言するものです。

生産者からは「生育調査を行うことで生育状況を正確に把握できた」といった意見を頂きました。引き続き調査と指導を行い、作終了まで目標収量がとれるよう活動を続けていきます。



【指導を行う指導員】

(西諸県地域の特色を活かした花き産地振興)

1) キイチゴ「ベビーハンズ」栽培講習会を開催

11日にJAえびの市管内で、生産者7名(JAこばやし3名、JAえびの市4名)と関係機関4名が参加して、今後の栽培管理について講習しました。まず室内講習で基本的な管理ポイントや病虫害防除等について説明した後に、えびの市管内の現地ほ場へ移動してベビーハンズの生育状況の確認や管理についての意見交換をしました。参加者からは、べと病の適切な防除時期などについて質問があり、発生条件を踏まえた防除のタイミングを説明しました。



【現地意見交換の様子】

(魅力ある西諸果樹産地の維持・発展)

1) 令和7年度小林市果樹農業振興推進対策協議会総会の開催

19日に、標記総会に参加しました。普及センターからはブドウの着色促進剤の試験結果、蜜蜂への被害防止に向けた農薬安全使用についての啓発チラシ、令和8年度栽培暦を配付しました。

(20年後も生き残る西諸茶産地の育成)

1) 令和7年度営農振興協議会有機茶等先進事例調査を開催

16日、関係機関で構成する技術員会による、鹿児島県志布志市への有機茶等の先進事例調査を実施しました。鹿児島県における有機茶の先進事例を学ぶことで、関係機関の各種施策に波及することを目的としています。

ドリンク茶、抹茶に関する栽培や流通の歴史の変遷、新しい技術を取り入れるスピード感等を西諸地域の技術に波及できるように今後とも活動をしていきます。



【視察先の意見交換の様子】

2. 総合プロジェクト以外の普及活動

1) 香川のランキュラス担当者が管内を視察

10日に香川県のJAと普及員3名が、JAこばやし管内のランキュラス生産者2戸を視察しました。

視察の中で、香川の担当者と管内の農家が様々な意見交換もしました。その中で、品種構成や栽培管理が西諸県と異なることが分かり、お互いにとって有意義な視察となりました。



【視察の様子】

2) 西諸県地区果樹技術員会第8 回定例会を開催

27日に、普及センターで西諸県地区果樹技術員会を開催し、関係機関9名が出席しました。会議では、各品目の生育概況報告、1月に実施した熊本県視察の報告を行い、振興局からは令和8年度補助事業の説明を行いました。

また、マンゴー後期型での花芽状況が悪かった園地について、管理状況等について聞き取りを行いました。

3) ぐれ〜ぶ総会の開催

30日に、標記総会が開催され、生産者と関係機関合わせて10名が参加しました。普及センターからは農業機械の購入に活用できる補助事業の説明及び令和8年度栽培暦の配布を行いました。

今後も引き続き関係機関と連携し、地域の課題に取り組んでいきます。



【総会の様子】

4) JAこばやしゴーヤー生産部会栽培講習会を開催

2日に、JAこばやし三ヶ野山出張所にて、ゴーヤー生産部会の栽培講習会が開催されました。

会では、種苗メーカーから品種特性や栽培管理についての説明があり、普及センターからは病害虫の発生状況について説明を行い、生産者からはウリノメイガの対策などについて質問がありました。

今作は昨年同様、夏場の高温も注意が必要となりますので、作中は高温対策についての指導を重点的に行っていきます。



【メーカーの説明を聞く生産者】

5) JAこばやし雨よけピーマン栽培講習会を開催

11日に、JAこばやし三ヶ野山出張所にて、雨よけピーマン栽培講習会が開催されました。

普及センターから、昨年実施した高温対策の実証事例や天敵の利用、うどんこ病の防除について説明を行いました。

他の作同様、今作も夏場の高温対策が必要となりますので、作中は高温対策についての指導を重点的に行っていきます。



【JAの説明を聞く生産者】